

幼児教育実態調査

【塾・習い事指導者編】

平成24年7月

福井県教育委員会

目 次

I	調査概要	1 頁
II	主な結果	
1	塾・習い事指導者の意識	3 頁
2	幼児との関わり	5 頁
3	幼児教育の在り方	8 頁
4	自由意見	10 頁
III	アンケート	21 頁

I 調査概要

- 1 目的 幼児教育支援プログラムの策定に当たって、幼児が通う塾、
習い事の指導者の実態を明らかにし、具体の施策に反映させる。
- 2 調査時期 平成24年6月
- 3 対象者数 保育所・幼稚園に通園する幼児が通う塾・習い事の指導者
300人
- 4 調査方法 塾・習い事の事業所等を電話帳にて抽出
抽出した事業所等に対し、幼児の対象の可否を電話で確認
幼児を対象とした事業所等の指導者 300人にアンケート
を送付

5 結果概要

(1) 回答者数

回答者 151 人（回答率 50.3%）の内訳は下表のとおりとなった。

ア 指導内容別

No.	指導内容	回答者数	No.	指導内容	回答者数
1	スイミング	31	9	音遊び・リズム遊び	1
2	サッカー	3	10	絵画・造形	0
3	体操(体操教室)	2	11	英会話など語学の教室	16
4	バレエ	4	12	幼稚園や小学校受験のための塾	0
5	リトミック	2	13	受験目的でない学習塾や計算・書きとりの塾	63
6	ダンス	2	14	その他	10
7	武道・武術(空手・剣道・柔道等)	5	15	無回答	1
8	楽器(ピアノ等の個人レッスン)	11		計	151

イ 年代

	回答数	割合
20歳代	9	6.0%
30歳代	28	18.5%
40歳代	34	22.5%
50歳代	43	28.5%
60歳代	26	17.2%
70歳代以上	11	7.3%
計	151	100.0%

ウ 地域

	回答数	割合
福井地域	77	51.0%
坂井地域	16	10.6%
奥越地域	12	7.9%
丹南地域	29	19.2%
嶺南地域	16	10.6%
未記入・無効等	1	0.7%
計	151	100.0%

エ 性別

	回答数	割合
男性	35	23.2%
女性	116	76.8%
計	151	100.0%

オ 保育所・幼稚園との連携状況

	回答数	割合
連携あり	42	27.8%
連携なし	82	54.3%
無回答	27	17.9%
計	151	100.0%

カ 現在、指導している幼児数

幼児数	回答数	割合
0人	5	3.4%
1~5人	61	41.2%
6~10人	23	15.5%
11~20人	10	6.8%
21~30人	9	6.1%
31~40人	4	2.7%
41~50人	5	3.4%
51~100人	16	10.8%
101人以上	15	10.1%
計	148	100.0%

キ 保育所、幼稚園と連携して指導している幼児数

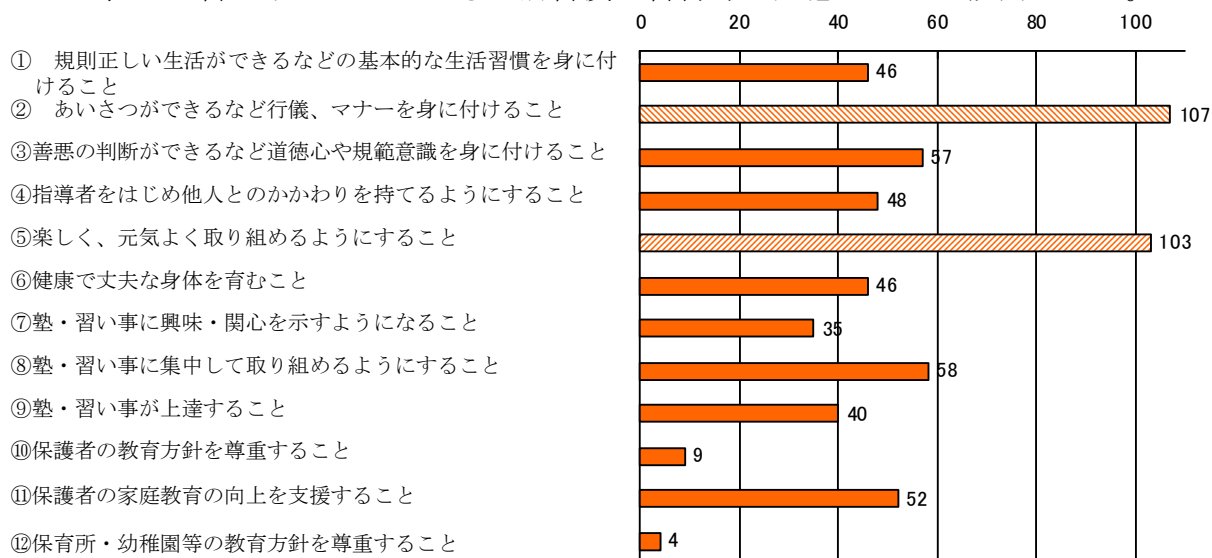
幼児数	回答数	割合
0人	80	64.5%
1~5人	2	1.6%
6~10人	2	1.6%
11~20人	11	8.9%
21~30人	4	3.2%
31~40人	0	0.0%
41~50人	4	3.2%
51~100人	11	8.9%
101人以上	10	8.1%
計	124	100.0%

Ⅱ 主な結果

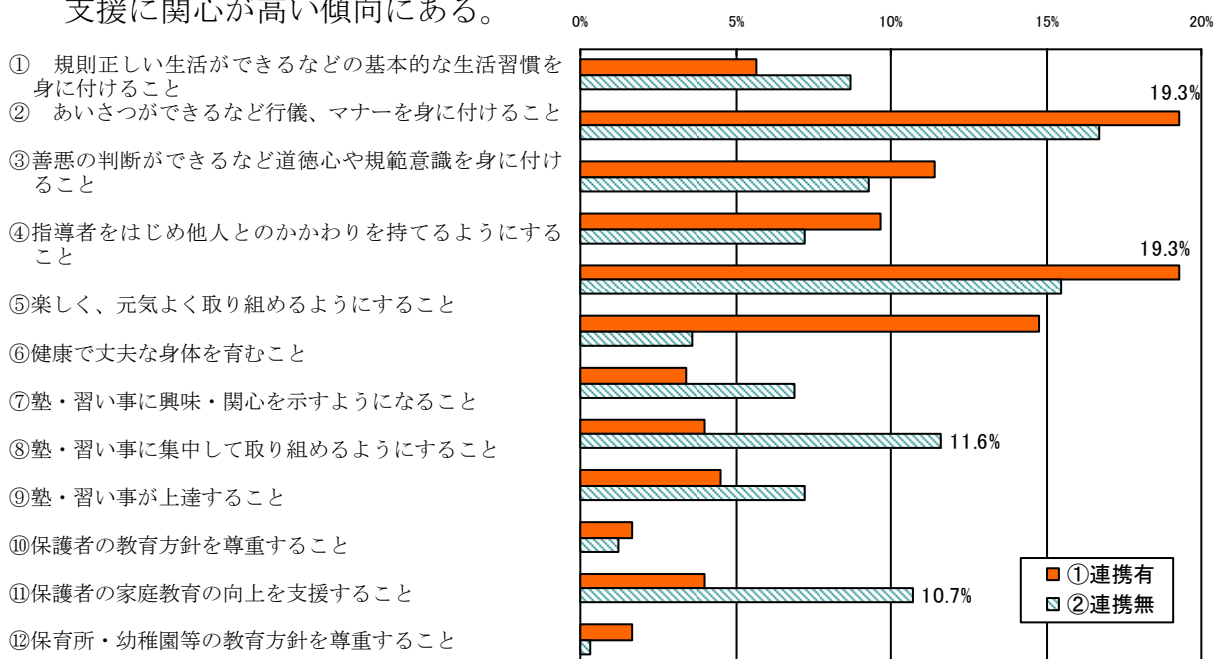
1 塾・習い事指導者の意識 ～礼儀正しく、社会に尽くす人に～

(1) 幼児を指導するに当たって最も重要だと思うこと (複数回答可)

「②あいさつができるなど行儀、マナーを身に付けること (107人)」が最も多く、次いで「⑤楽しく、元気よく取り組めるようにすること (103人)」となっており、塾・習い事の上達よりも生活習慣の習得等に配慮している傾向にある。



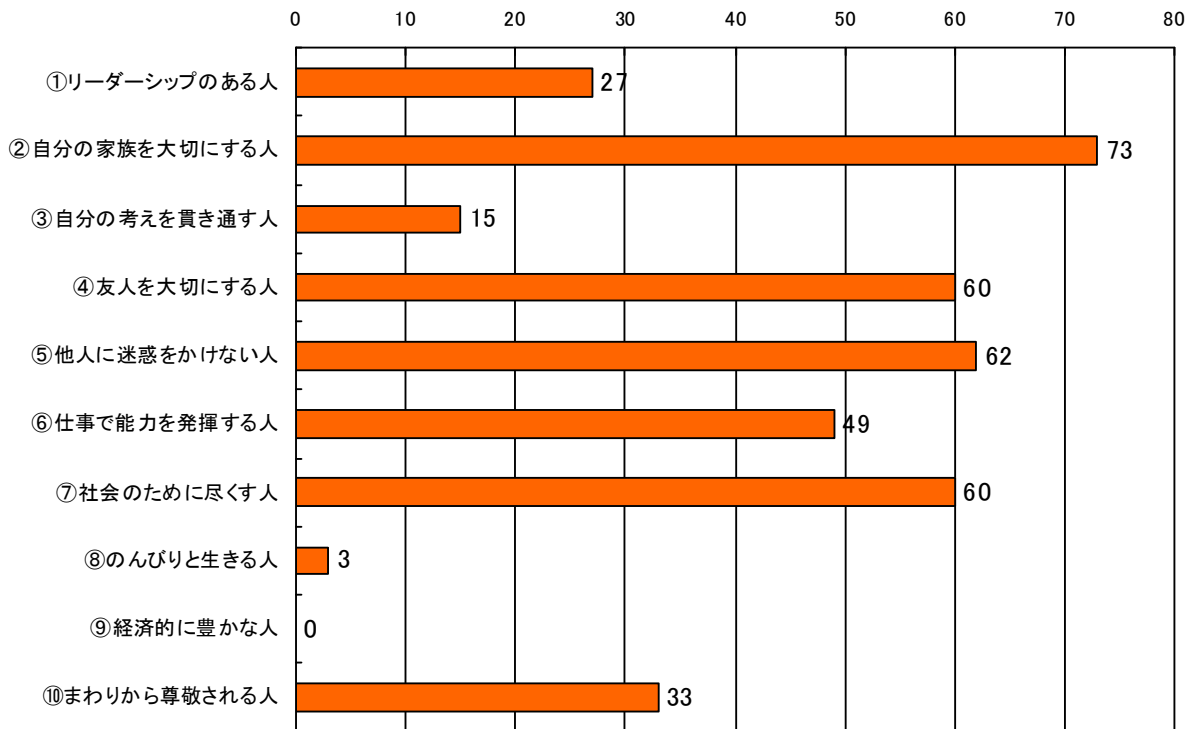
また、保育所・幼稚園と連携している塾・習い事指導者は、行儀、マナーを身に付けることや楽しく、元気よく取り組むことを重視している一方、連携していない塾・習い事指導者は、指導内容に集中・上達することや家庭教育への支援に関心が高い傾向にある。



(2) 貴方が指導する幼児が、将来どのような大人に成長してほしいか。

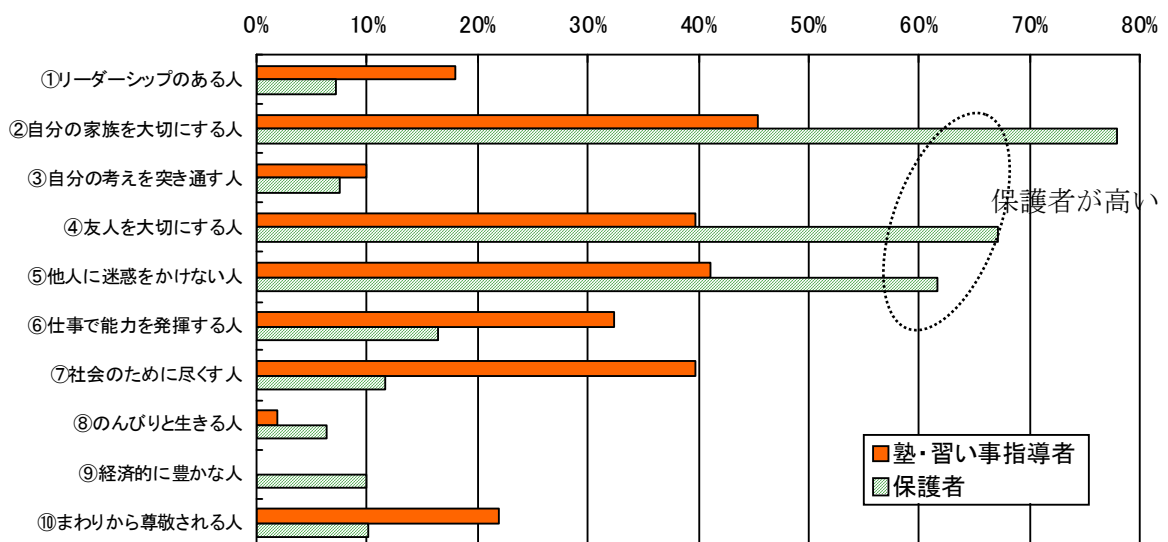
(該当するもの3つまで)

「②自分の家族を大切にすること(73人)」が最も多く、次いで「⑤他人に迷惑をかける人(62人)」の順となっている。



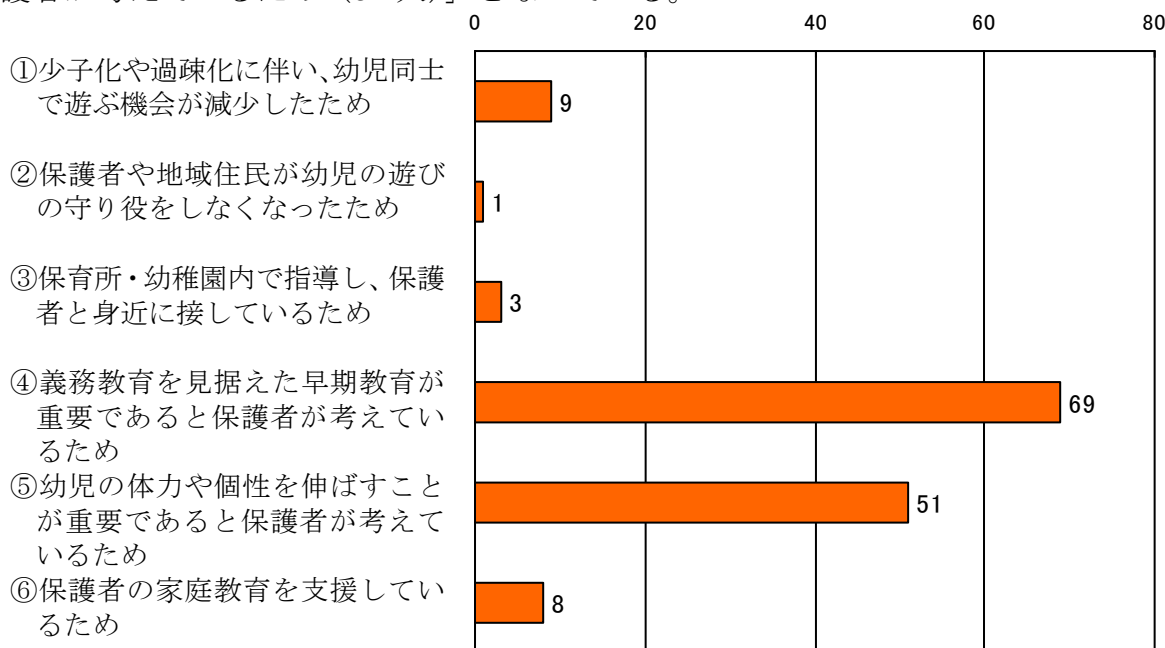
一方、昨年10月に実施した幼児の保護者を対象に同じ設問を聞いたところ、「①リーダーシップのある人」、「②自分の考えを突き通す人」、「⑥仕事で能力を発揮すること」、「⑦社会のために尽くす人」と「⑩まわりから尊敬される人」の割合が、保護者より指導者が高くなっている。

幼児の保護者と塾・習い事指導者との比較



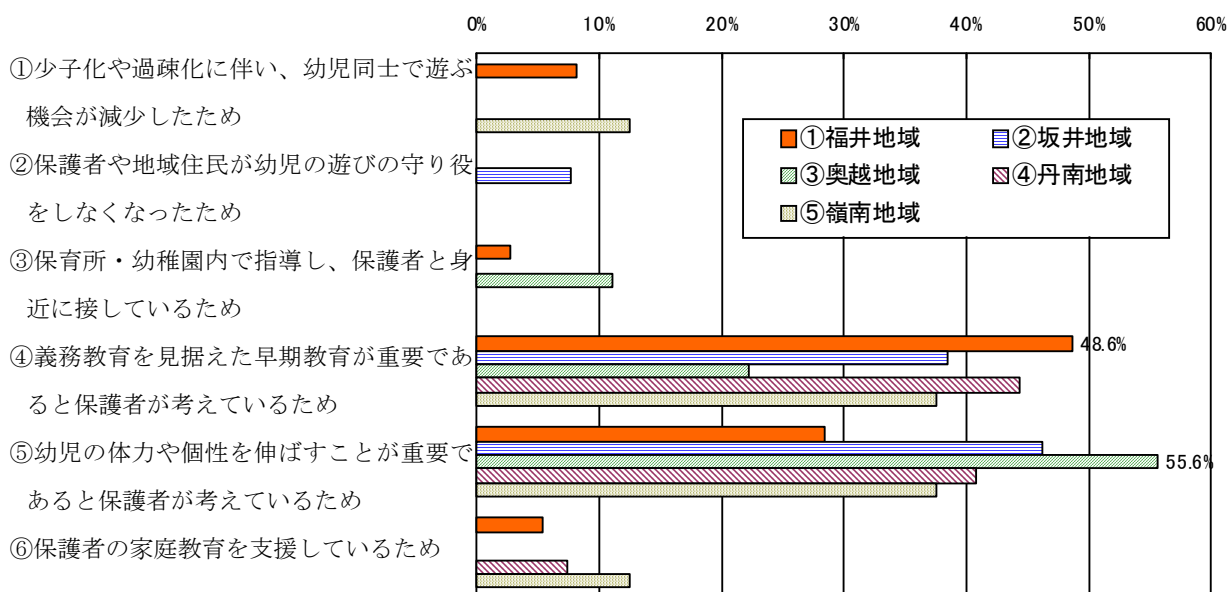
(3) 保護者が幼児を塾・習い事に通わせる意識・背景の最も大きな要因について

「④義務教育を見据えた早期教育が重要であると保護者が考えているため(69人)」が最も多く、次いで「⑤幼児の体力や個性を伸ばすことが重要であると保護者が考えているため(51人)」となっている。



地域別に見ると、「①福井地域(48.6%)」が「④義務教育を見据えた早期教育が重要であると保護者が考えているため」、「③奥越地域(55.6%)」が「⑤幼児の体力や個性を伸ばすことが重要であると保護者が考えているため」が最も多くなっている。

保護者が塾・習い事に通わせる意識・背景(地域別)

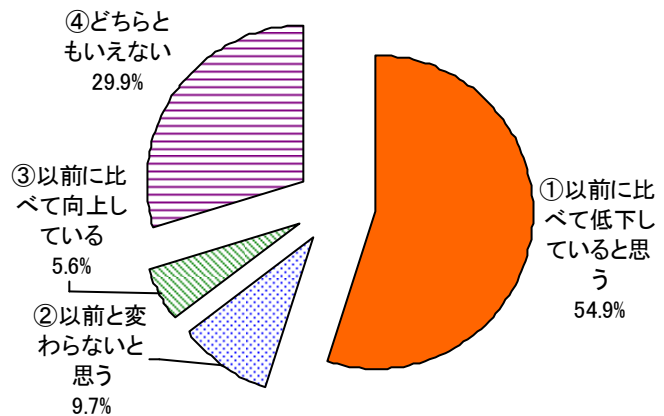


2 幼児との関わり ～保育所・幼稚園と連携してさらなる向上を～

(1) 幼児を指導して感じたこと

ア 保護者の家庭教育力

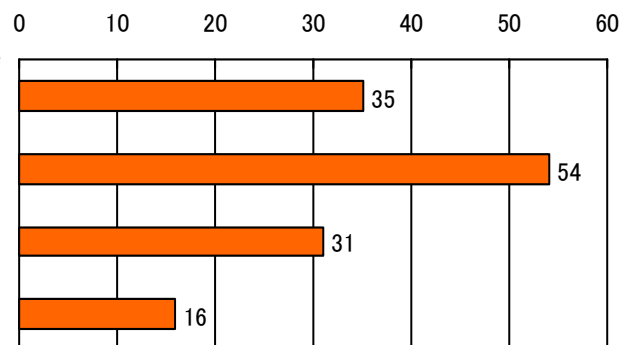
「①以前に比べて低下している (54.9%)」が過半数を占め、次いで「④どちらともいえない (29.9%)」となっている。



イ 家庭教育力が低下していると感じる事項

「②幼児が我慢強く辛抱することができない (54人)」が最も多く、次いで「①幼児が自分のことを自分でできないなど生活習慣が身についていない (35人)」となっている。

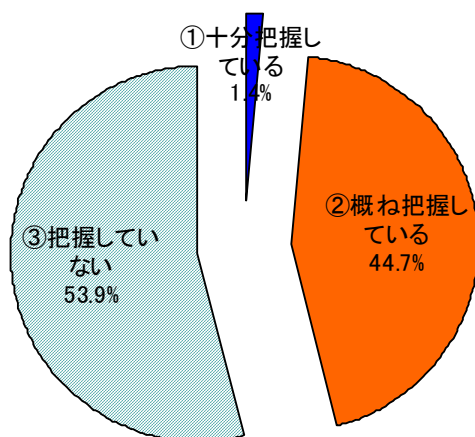
- ① 幼児が自分のことを自分でできないなど生活習慣が身についていない
- ② 幼児が我慢強く辛抱することができない
- ③ 幼児が集中して遊んだり、学んだりできない
- ④ 幼児が自分の気持ちや考えを人に伝えられない



(2) 幼児が通園する保育所・幼稚園の指導方針等の把握

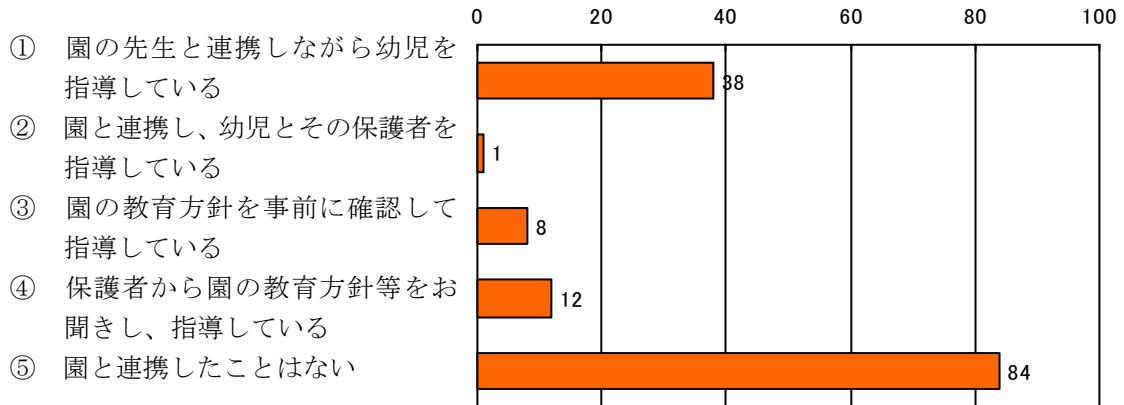
「②把握していない (53.9%)」が過半数を占め、次いで「②概ね把握している (44.7%)」となっている。

また、保育所・幼稚園と連携している塾・習い事指導者の割合 (27.8%) に比べて、「①十分把握している (1.4%)」と「②概ね把握している (44.7%)」の合計が 46.1%と高く、保護者等を通して園に指導方針等を把握しているものと考えられる。

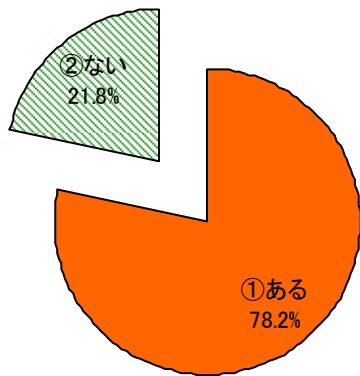


(3) 保育所・幼稚園と連携して、幼児を指導した経験

「⑤園と連携したことがない (84人)」が過半数を占め、次いで「①園の先生と連携しながら幼児を指導している (38人)」となっている。



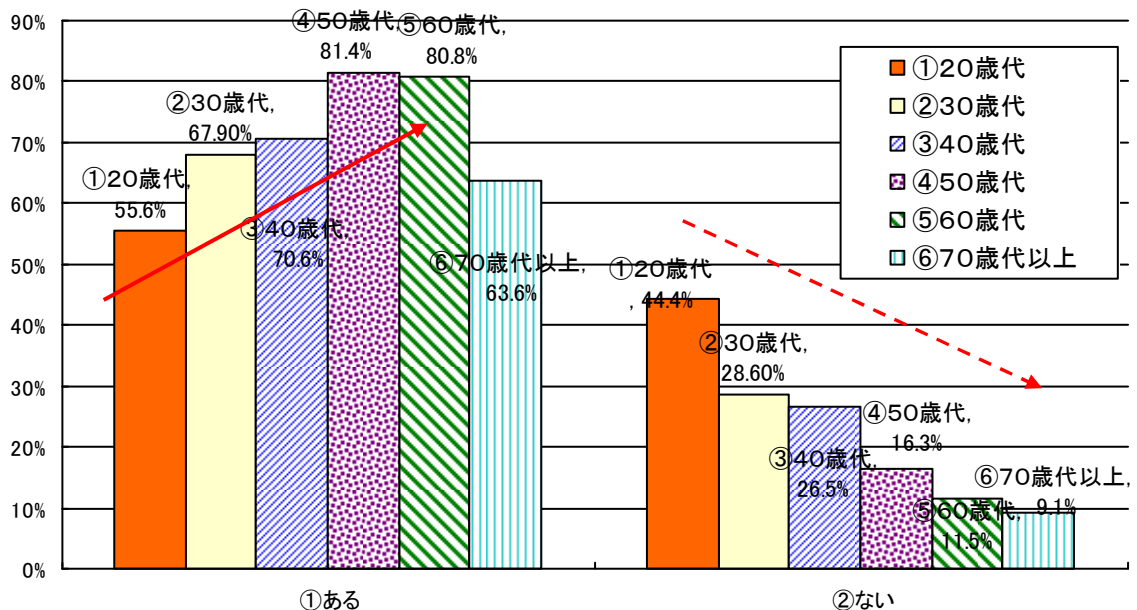
(4) 育児・教育について学ぶ機会



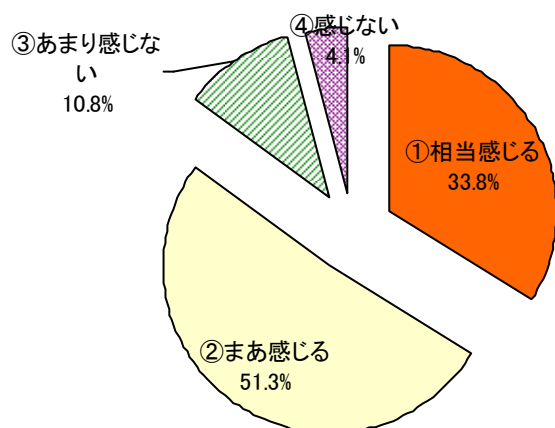
「①ある(78.2%)」と回答した割合が圧倒的に多くなっている。

また、年代別でみると、「①20歳代」と「②30歳代」は「②ない」と回答した割合が高く、40歳代以上では「①ある」と回答した割合が高くなっている。

育児・教育について学ぶ機会(年代別)



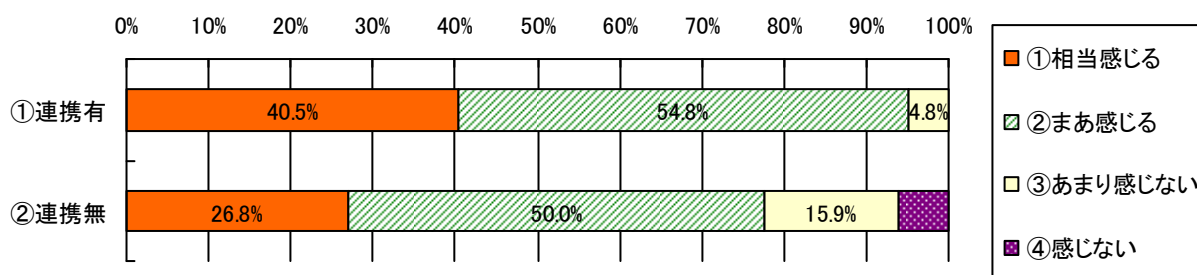
(5) 関係者が連携し、幼児教育の向上を図る必要性



「②まあ感じる (51.3%)」が過半数を超え、次いで「①相当感じる (33.8%)」となっている。幼児教育の向上について、塾・習い事指導者の連携に対する意識が高くなっていると考えられる。

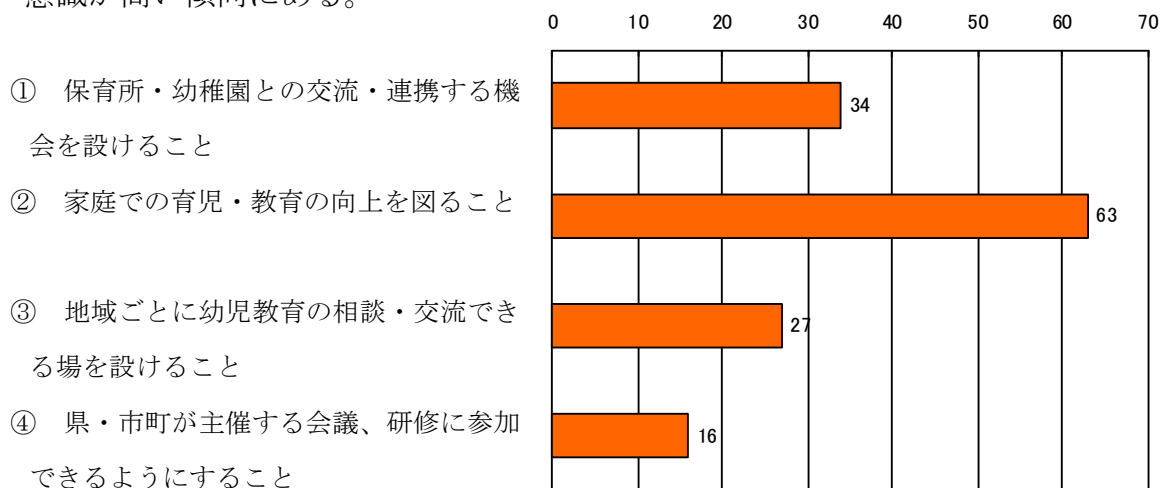
保育所・幼稚園と「①連携有」と回答した塾・習い事指導者では、「①相当感じる(40.5%)」と「②まあ感じる (54.8%)」の合計が95%に達しており、「②連携無」と回答した塾・習い事指導者に比べて連携の必要性を強く感じている。

連携して、幼児教育の向上を図る必要性(連携状況)



(6) 県や市町の支援内容

県や市町など行政に対し、「②家庭での育児・教育の向上を図ること (58人)」が最も多く、次いで「①保育所・幼稚園との交流・連携する機会を設けること (31人)」となっており、幼児教育の向上のためには家庭教育の向上が重要との意識が高い傾向にある。

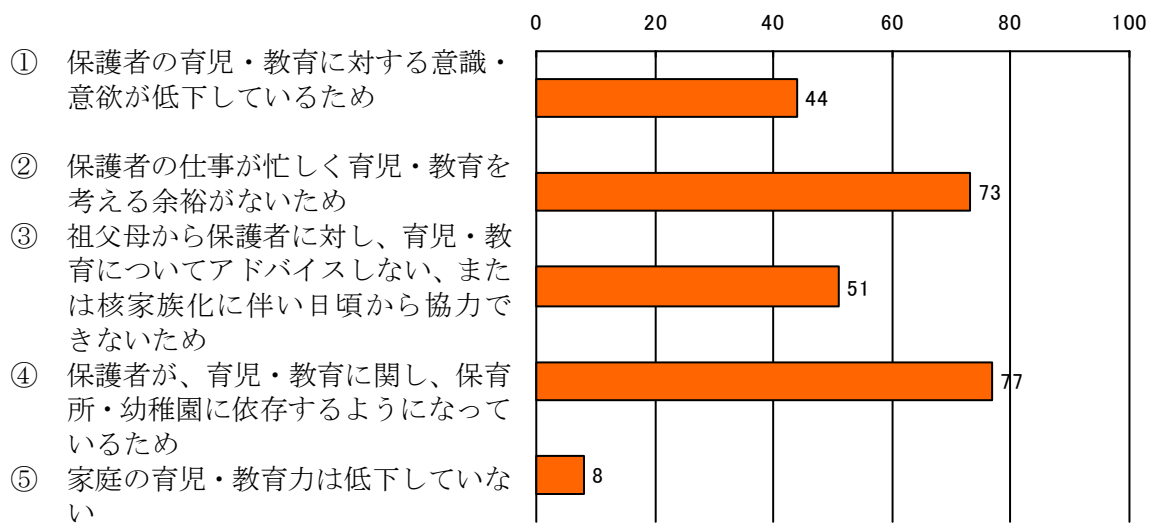


3 幼児教育の在り方 ～園に過度に依存しない家庭を支援～

(1) 家庭教育力が低下している要因（複数回答可）

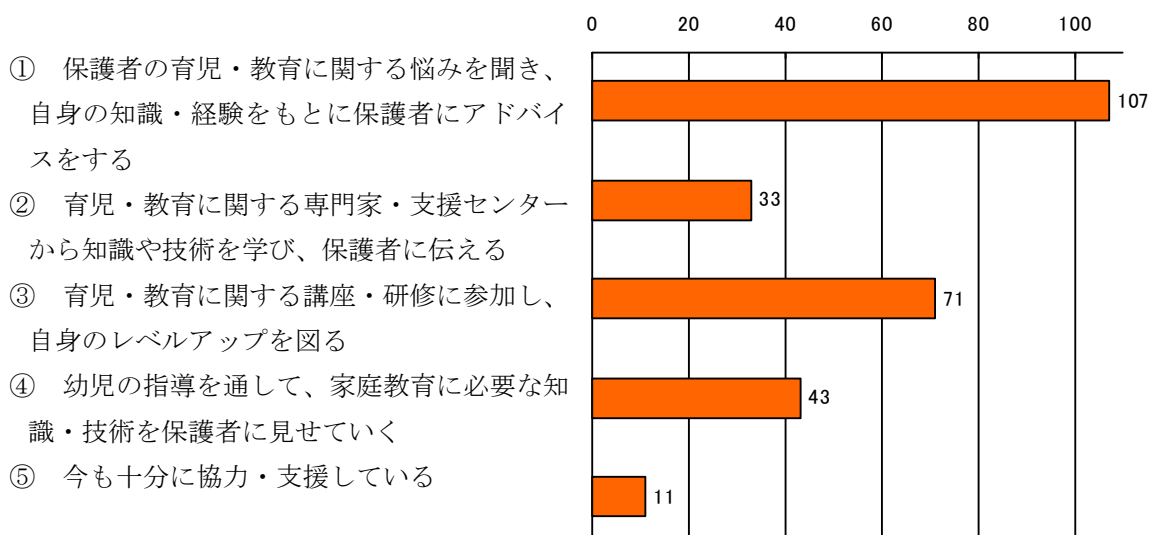
「④保護者が、育児・教育に関し、保護者・幼稚園に依存するようになって
いるため（77人）」が最も多く、次いで「②保護者の仕事が忙しく育児・教育を
考える余裕がないため（73人）」となっている。

これは、保護者が仕事と幼児の育児・教育の両立が困難な状況にある一方、
保育所・幼稚園への依存の高さは塾・習い事の指導者からも見てとれる状況に
あることがわかる。



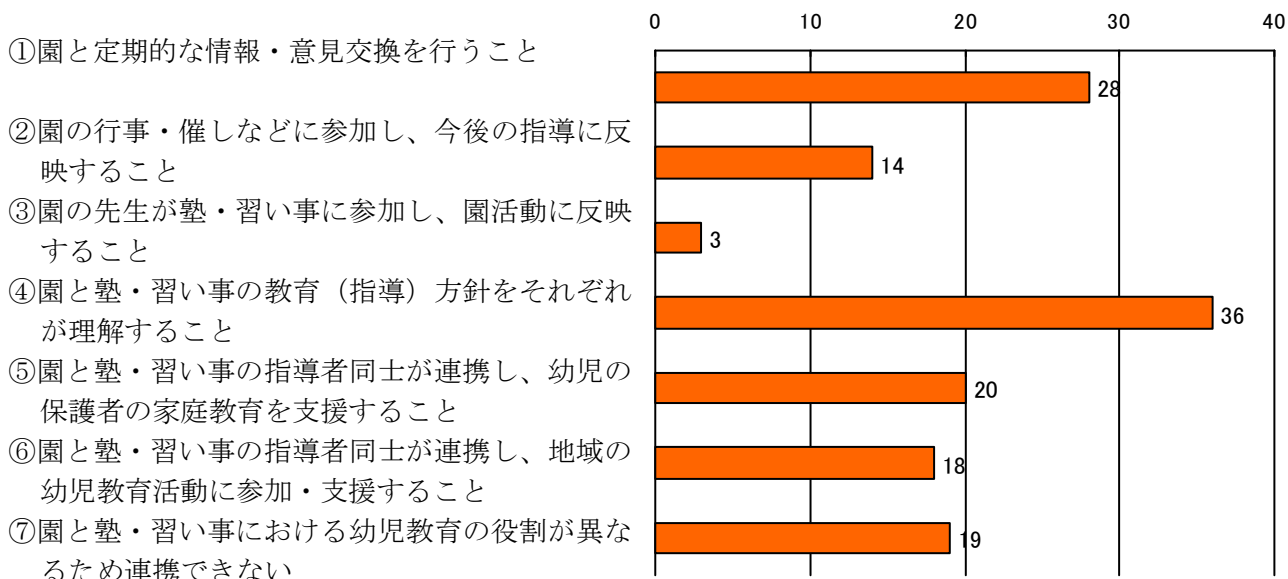
(2) 家庭の育児・教育をさらに良くしていくため、指導者として協力・支援 できること

「①保護者の育児・教育に関する悩みを聞き、自身の知識・経験をもとに保
護者にアドバイスをする(107人)」が最も多く、次いで「③育児・教育に関する
講座・研修に参加し、自身のレベルアップを図る(71人)」となっている。



(3) 幼稚園・保育所の先生方と連携して、幼児教育をさらに向上させていくための方策として、最もふさわしい事項

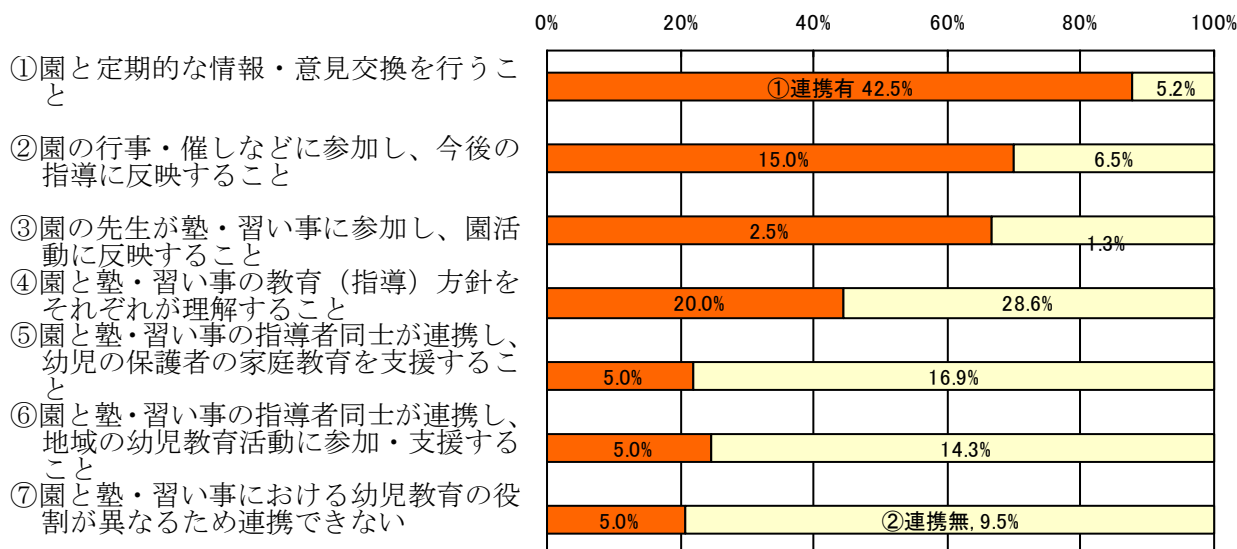
「④園と塾・習い事の教育（指導）方針をそれぞれが理解すること(36人)」が最も多く、次いで「①園と定期的な情報・意見交換を行うこと(28人)」となっている。



保育所・幼稚園と「①連携有」と回答した塾・習い事指導者は「①園と定期的な情報・意見交換を行うこと(42.5%)」が最も多い。

また、「②連携無」と回答した塾・習い事指導者は「④園と塾・習い事の教育（指導）方針をそれぞれが理解すること(28.6%)」が最も多く、まずは相互の立場等を分かり合うことが必要と考えている。

保育所・幼稚園と連携して幼児教育をさらに向上させるための方策(連携状況)



4 自由意見

これからの幼児教育をさらに向上させていくため、塾・習い事の指導者の役割について

No.	意見	年代	地域名
1	水泳インストラクターとして、子ども達の心、体を鍛えて、感動する心を育てたいと思います。	20 歳代	
2	運動や習い事の必要性を園・保護者に伝えていくことが必要だと思う。また、その方法、やり方を伝えていく。		
3	私的な所見ですが、私自身が働く母親として、保育園の存在は大変安心です。短発的なものも含めると複数の園を行き来しているので、園によって教育に関する方針やシステムの違いがよく見えます。 福井はお寺さんの保育園も多く、人としての育て方がなされているのではないのでしょうか。知的な教育よりも心の教育が何より大切と感じています。習い事は週に一時間程度の短い時間のため、いかに分かりやすく伝えるかを念頭に指導させて頂いています(あきらめない、前向きに取り組むことを声を大にして伝えています。)		
4	園や塾・習い事の指導者がそれぞれの立場でそれぞれを理解しようとする姿勢が必要だと思います。一人の幼児を取り巻くそれぞれの立場の者が共通の意識を持ってこそ、健やかな人格形成に貢献できると思います。		
5	保護者が、子どもから見て良い教育者になれるように、保護者の向上、大人のレベルアップが必要。	30 歳代	福井地域
6	福井は学力が1、2を争うのに、本当に何が良いのか、特徴が無いように思います。 弊社は英会話学校ですが、福井の街を歩く外国人に簡単に挨拶できる(英語で)、もちろん小中高生に「話せる英語」の勉強が必要だと思います。ものづくりの福井は必ず世界各国でビジネスを行います。「話せる英語」がないと交渉はできないと思います。		
7	私達に出来ることは、来られている生徒さん方が将来、勉強だけでなく、心の豊かな子になっていってくれるよう、一回一回のレッスンに一生懸命に取り組み、また保護者の方々とよくコミュニケーションをとっていくことだと思っています。 親の姿は子どもの姿、やはり子どもさんの環境や教育を変えていく前に、親の教育、家族関係、心、ゆとり、ストレスのない環境づくりを先に考えていくべきかと思います。 今の子ども達は、集中できない、我慢が苦手と、将来がかなり不安で		

No.	意見	年代	地域名
	す。習い事続ける中で、それが少しでも改善できればとは思いますが。		
8	<p>どのような「ねらい」、「目的」で通っていただいているのかを指導者が把握し、一人一人に合った補助、アドバイスが出来るようにしていく必要があると思います。</p> <p>そのためには子どもの「心」を読み取れるスキルが必要だと思いますが…。やはり指導者のスキルアップが促進される環境づくりが大切だと思います。</p>		
9	<p>子ども・保護者同士のコミュニケーションの場となり、プール指導を通じて、健康で活発な子になって欲しい。</p> <p>育児の補助的立場になれば良いと思います。</p>		
10	<p>幼児教育の最も重要な部分は家庭(特に親)にあると思います。</p> <p>塾や習い事の指導者として、その部分にまで踏み込むべきではないと考えます。親自身が、どのように子どもを育てていくのかをきちんと考えて、たっぷりの愛情を注ぐことが第一ではないでしょうか。</p> <p>愛情を感じている子どもは、自分で考えて、してはいけないこととすべきことを理解し、きちんと行動に移すことができると思います。親も子ども、考える力がなくなってきたように感じます。</p>		
11	<p>私はリミックスの講師です。1～5歳児を対象としたリミックスのレッスンをしています。</p> <p>人間形成において、特に、重要な幼児期にリミックスをすることで、 心…例えば、好奇心、探究心、向上心、自立心、競争心 etc、 力…例えば、注意力、集中力、理解力、判断力、表現力 etc、 性…例えば、社会性、協調性、感受性、積極性、創造性 etc。 この 3 つの要素がバランス良く、しかも楽しみながら養われていきます。</p> <p>最近ニュースで、よくキレる・感情を抑えられない、我慢できないといった子どもが増えていると聞きます。リミックスは子どもが子どもらしくあるために、子どもの目線に立った教育法です。是非、子どもはもちろん、実際毎日子どもに関わる先生方にもリミックスの知識をお持ちいただければと思います。</p> <p>子どもの持つ力は本当に凄いです。出来なかったことが出来るようになった自信溢れた顔は、何事にも代えられないその子の財産です。</p> <p>私達が多くの保育所・幼稚園でリミックスをする機会が出来ることで、先生と一体となり福井の幼児教育をさらに向上させていくお手伝いができればと思います。</p>		

No.	意見	年代	地域名
12	習い事の指導以外で、子どもと保護者との交流も必要かと思います。	40歳代	
13	民間企業ですが、教育者的方針の会社です。各学校との連携団体への国や県からの支援が必要(勉強会や体操教室といった)。		
14	スイミングを通し、頑張ることを教えていきたいです。辛くても頑張り続けなければ喜びが味わえます。すぐに諦めてしまうのではなく、自分の考えを持ち、夢を見ながら努力する様に励ましています。		
15	家族の中で、幼児のしつけ、教育などが充分に行われるのが本来だと思います。ただ幼児をお持ちの保護者さんなどに接していると、地域の中で子育てや教育について相談できる人を欲しているのだなと感じます。「子は宝」です。これからの未来のためにも大事な仕事をさせていただいていると自覚し、頑張っていきたいです。		
16	少しでも早い時期から、塾や習い事を始めることはとても素晴らしいことなので、幼児の持つ可能性を伸ばし、家庭学習を通して親と子のコミュニケーションを多く持てるよう、又、その信頼の上に幼児の能力も高くなっていくと思うので、将来困らない学力をつけてあげたいという思いから、もっと多くの幼児さんに来てもらえるよう、普及活動につとめたいと思っています。又、幼児の保護者の方の悩みや相談にのることによって、家庭教育の大切さを伝えていけたらと思っています。		
17	お子さん一人一人の良い所を伸ばしてあげたい。		
18	学校とは違った心の持ち方で習い事へ望むことが多いと思うので、話し、一人一人の考えを大事に、絶対的な信頼を持ってもらう。		
19	塾、習い事の指導者は、理想としては「幼児教育を良いものにしていきたい」との考えを持っていると思うが、「商売である」という本音がある為、「間違っている」と思っている、分かっている、客である幼児、保護者のわがままを受け入れながらやっていかなくてはいけない。 小学校入学前の「しつけ」については、向上を願うのであれば、行政からの強い指導が必要だと思います		
20	幼児の場合は、まだ遊びの方が大事だと思いますので、習い事や塾にしても一番は楽しくないと長続きもしませんし、子どものためにもならないと思います。あまり負担になり過ぎず、少し難しいという、ちょうどのところ、一人一人の子どもさんに対して見極めて、のびのび育ていけるよう指導していきたいと思っています。		
21	私の所は“コミュニケーション”を大切に考えています。常に子ども、父兄と会話を多くもてれば相互に“プラス”になると考えていますし、それを実践しております		
22	働いていることを理由に子どもの教育を保育所、幼稚園に頼り過ぎて		

No.	意見	年代	地域名
	<p>いるように思います。</p> <p>あくまで家庭では生活面を、学習や集団生活を通して学べることは学校、幼稚園または塾や習い事で学ぶ。役割分担ができるのが理想だと考えています。</p>		
23	<p>3歳～12歳までの子ども英会話教室です。確かに5歳から始める子が多いです。</p> <p>特に、保育園に通っている子どもの親が、小学校入学に向けて“集中して授業を受ける”練習になればと選ばれたことが何度かあります。</p> <p>自由な子が多いので、お友達の話(発表)を聞く、時間を区切って課題に取り組む等、苦手な事は多いですが、保護者や園の先生とは違う“地域の大人”として成長を見守り“良いお手本”となるように努めていきたいと思っています。</p>		
24	<p>幼児教育に対する保護者の関心度は今も昔も変わりはないと思うが、今は情報が多過ぎて、何が子どもにとって良いのか、迷う保護者が増えていると思う。</p> <p>又、そのためにこの塾がだめなら次はこの塾…と次々と塾や習い事を変える家庭も増えているように思う。</p> <p>指導者には保護者とコミュニケーションを密にとり、保護者の話に耳を傾け、こちらの思いも伝えつつ、同じ方向を向いて子どもを伸ばしていくお手伝い出来ると思う。</p>		
25	<p>福井県は共働き率が高いため、乳幼児から保育園に入れる傾向が強いです。私共の仕事は、母子間、父子間のスキンシップを通して、子ども達が安心感やストレス解消等のパイプ役として関わっていければと考えております。今後も若い世代を応援する立場で支えていきたいと考えています。</p>		
26	<p>指導者が講座、研修等で学んだことを保護者の方に伝えていく。</p>		
27	<p>子どもはもちろん、保護者の良きアドバイザーになり、精神面で少しでも支えてあげられたらと思います。</p> <p>最近、家族単位で行動することが多く、親自身が地域の人を知らないことが多いので、少しでも地域と関わっていただき、子ども達を見守れたら良いと思います。</p>	50歳代	
28	<p>現在、少林寺拳法の道場で子ども達に少林寺拳法を教えています。一番の問題点は、練習をやっている事をいかに幼児並びにその親に知らしめるかです。チラシをまいたり、口ききで募集していますが、なかなか集まりません。子どもさんさえ集まれば、多くの事を伝え、教えることは可能ですが…。できれば、県や市の広報、幼稚園、保育所にビラ</p>		

No.	意見	年代	地域名
	を同封して(お知らせに)いただければありがたいのですが。		
29	<p>小学校入学後にしっかりついていけるよう、読み聞かせを十分にしてあげるお手伝いはできると思う。</p> <p>基本的には、保護者にそのノウハウを指導し、家庭で上手に働きかけてもらうことに尽きる。</p>		
30	<p>家庭教育を支援しながら、教育の向上を図っていこうと思っております。</p>		
31	<p>子育ての悩みなど困っている事はきちんと聞いてあげて、保護者が前向きに、子どもに愛情をたっぷり与えながら子育てができるようアドバイスしていきたいと思っています。</p>		
32	<p>人を育てるカギとして、「幼児教育」、「人材育成」にしても、相手を必ず「立派な人材になる人だ」とまず信じて尊敬してこそ成功する。</p> <p>まず信じる。そこから人は伸びていきます。長い目で見ていくことが大切です。私の教室の合言葉は「どんなに小さくても人格者に！」です。礼儀正しく、背筋をピンとして、人に迷惑をかけないことが人への思いやりであることなど、子ども達にきめ細かく丁寧に指導します。入会されてから3ヶ月間は初期指導に力を入れ、自立学習を確立させます。幼児も一緒です。“十人十色”で、一人ひとり顔、性格が異なるように、もちろん進度も様々ですが、それが個性だと尊重しています。</p> <p>“桜守り”という言葉を知っていますか？見守ること、そして認め、誉め、励まし続けければ、子どもは答えてくれます。子どもは大人の心を察知する天才です。そして、子どもと思わず一人の人として尊敬し、接することです。私の教室の生徒みんなは素晴らしい人材です。私の誇りです。</p> <p>今回のアンケートの内容ですが、園との連携がポイントと感じましたが、「人材を育てたい、社会を良くしたい」という目的は一致しています。連携というよりは、それぞれがそれぞれの立場で、教育という偉業に携わることができることに感謝し、高め合っていくことが、幼児教育向上につながると思います。</p> <p>人を育てるのはやはり人です。大人も子どもも“生涯学習”です。ゴールはありません。自分自身を磨き続ける事が答えになるかもしれません。</p>		
33	<p>保育園、幼稚園、地域、塾の指導者が連携し合う時間を持ち、専門的な分野を保育園、幼稚園の活動の場で取り入れる(定期的)。</p> <p>発表は地域の場を借りる。</p>		
34	<p>保護者をサポートする窓口の一つだと考えている。</p>		

No.	意見	年代	地域名
	子どもを育てる主体は家庭。周りがあれこれやり過ぎて家庭の力が落ちては本末転倒。		
35	塾・習い事の内容は様々ですから、自分の関わっている仕事について、子どもの力がより向上するように、自分が日々学習する。	60 歳代	
36	小学校に入ってからのひらがな、数字の学習は早く進み過ぎて、戸惑う生徒も多いようです。幼児の間にある程度学習することで随分学校生活に余裕が出ている1年生も多々あります。幼児教育を公の場でもっと考えられたらいかがでしょうか？		
37	音楽の面で協力する用意はある。スパルタ式で音楽教育するなど、誤った指導をしている幼稚園が評価されているのは不思議だ。 音楽の楽しさを伝えられる先生が増えることを祈る。		
38	幼児期の脳の成長は急カーブに成長する時であり、この時期に脳に刺激を与え訓練しておくことは、中学、高校になって努力する半分以下の労力ですむ。 特に、幼児期に保護者が読み聞かせをしたり、歌を歌ってあげたりすることで、言語能力が育ち、語彙を多く持つことになり、幼児であっても自分で考える力、表現する力を持つことになり、生涯の財産になると考えます。 つまり、保護者の方にもっと子どもとかかわり、育児を楽しんでもらいたいと思います。		
39	園舎を低価格で貸していただければ、提供するサービスもその分低価格で受けていただけます。		
40	①公と私の連携、②教える人間の質とスキルの向上、③教育の原点に返り、幼稚園児への習い事の意味を確かめる。 その上での指導が必要である。		
41	自分たちの持っている知識、経験等をいかして、若い保護者の方々と協力して子ども達の成長に関わっていければと思います。		
42	今日の高学歴社会とインターネットの普及で、子育て最中の親達は、教育に対する情報や知識は昔の親よりずっと多いと思います。しかし、知識を実際に生かすことが今の親にはできないのではないかと思います。 なぜならば、核家族化に伴い、年寄りから子育ての経験を聞くこともなく、又、年寄りの意見を聞く機会も少ないからです。そこで、塾がその地域において気軽に訪ねることのできる教育のステーションとなり、お母さん達が情報交換したり、子育ての先輩(指導者を含め年齢の高い人)から経験を聞いたり知恵をもらったりできるようなラフなスタイルの子育て		

No.	意見	年代	地域名
	支援としての役割が果たせたらよいのではないかと思います。		
43	習い事を通して、生活面でのしつけと思われるところがとても不足しているので、愛情を持って補っていく必要があると思います。家庭とまめに連絡を取り合うことが大切だと思います。		
44	幼児に何が必要か見出し、保育所、幼稚園でできないことを担当していきたい。私は、子どもを生き生きさせること、みんなと遊べる子にすることができたらと思っている。	70 歳代 以上	
45	幼児の能力の高さを、幼児教育に携わっている人達がもっと学んでほしいです。		
46	私のような70歳前半の指導者にとって一番戸惑ったことは、園で歌っている曲が以前(何十年前)とは全く違うということです。知っていて当然と思われる歌が知らないと言ったのには驚きました。 園の行事等には顔を出して、どんな教育指導をしているのか見学させていただかなければだめだと痛感しています。		
47	社会教育、家庭教育、幼児(学校)教育の三本柱で教育は成り立っていると考えています。子育て環境が整備されているとはいえ、どの教育も均等に支え合い、どれが欠けても子どもは育ちません。 私の出来る事は、現代の家庭教育で不足している部分(それぞれの家庭によって違いますが)を親に気付かせ、補う手伝いができる様にすることが大事と考えて親子と接することです。身近なところに気軽に何でも相談できる人間として存在したいと思います。そして、子育て、親育ての協力者となれば幸せな事です。 こんな思いの人が一人でも多く存在し、地域の子育てに貢献できる人を増やし、見守りができるといいですね。	20 歳代	坂井地域
48	保護者、園、塾、習い事など全体での連携がとても重要に感じた。 関係者が一同に集まり情報交換の場もあると良いと思った。 家庭や各園のサポートを果たせる様な役割を果たしていけたらよいと思った。		
49	保護者の教育方針を理解し、当施設の方針をご理解いただき、きめ細かなサポートができる間柄になるように努力したいと考えます	30 歳代	
50	気になることがあってもストレートには伝えられない。最近の保護者は、習い事にはお金を払っているのでわがままを言っても当然と思っており、都合が悪ければやめればよいと考えている方が多いです。 塾の指導者は、人それぞれですが、言いたいことは言えないのではないのでしょうか？ 昔と比べ、保護者の常識が全くなっていないために、良い子どもを育	40 歳代	

No.	意見	年代	地域名
	<p>てるためには、まず親の育て直しが大切だと思います。子どもは育った環境によって、良くも悪くもなるものだと思いますので、子どもが悪くなるのは全て親次第です。</p> <p>塾に頼るのではなく、公的機関で親の指導をお願いします。ストレスがたまるので、この仕事はもうおしまいにしたいといつも思います。</p>		
51	保護者の方が気軽に相談できる。	60 歳代	
52	<p>幼児期に楽しいこと、出来た(る)ことをたくさん体験して、自分を信じてることができる人に成長して欲しいとの思いです。なるべくいろいろなことを経験して視野を広げて欲しいです。</p>		
53	<p>教育の原点は家庭で、最高の教育者は親です。</p> <p>私達は少しだけ教育の手助けをしたい。保護者がどれだけ理解をしていただけるか…と、保護者の辛抱です。</p>		
54	<p>スイミングスクールとしては、子どもに水を通じて体を動かす喜び、楽しさ、上達することの大切さを教えていきたいと思っています。</p> <p>社会体育として、また、子どもの成長面できっかけづくりとして、サポートしていくとよいと思います。</p>	20 歳代	奥越地域
55	何かを教える指導者だけでなく、大人として社会性なども正しく指導できるような役割を担っていきたい。		
56	<p>習い事の指導者という立場だけではなく、社会の大人として広く幼児の成長に関われるようにならなければいけないと感じる。また、そのような社会をつくれるよう役割を担っていかねばならないと感じる。</p>	40 歳代	
57	<p>福井は幼児教育、特に就学前教育が遅れています。</p> <p>”脳の旬”を大切にして、脳の発達に合わせて、幼児を自立した人間に育成することが大切だと思います。0歳から子どもを預かる保育所は教育機関としての役割をもっと充実する必要があります。</p> <p>私達は、教育産業として幼児教育に携わり、優れた教材やプログラムが持っています。就学前の2年間程、可能な保育所、幼稚園に導入し、その成果を追跡調査してはどうでしょうか。教育投資は乳幼児期が効果的です。県では十分な財源を確保するとともに、幼保一体化を考慮して幼児教育の質の向上をどう図るかが大切だと思います</p>	60 歳代	
58	<p>お子さんにもお母さんにも感じる事は多々ありますが、この場では書き控えさせていただきます。</p> <p>学校だけが学校ではありません。子どもにとって最も大切なことを学ぶのは家庭という学校です。しかも、18 歳くらいまで在学する最長の学校です。三つ児の魂もここで育まれます。</p> <p>現代最大の問題は、崩壊しかけた家庭という学校が増えて、その教</p>	70 歳代 以上	

No.	意見	年代	地域名
	師であるべき母(女性)の子育てがいい加減になっていることです。手をこまねいて見てもらえない事態と思います。		
59	子ども達が「自身の評価」を向上できるように支えること。 自己肯定感の向上。	30 歳代	
60	読み書き計算という基礎学力が大切だと思う。基礎学力のないまま大人になることがないように保護者に伝えていく努力をしたい。“個性”や“自由”は基礎があつてのことだということを皆が誤解しないよう幼稚園や保育園に言い続けてほしい。		
61	今の子ども達は確かに習い事が多いかもしれません。 しかし、きちんと親子で向き合っ習い事をしている子を見ると礼儀もきちんとしていて、目上の人への言葉もしっかり出来ているように思います。 その逆で、子どもが習いたいと言ってるからと子どもの意見を取り入れている風に親が申し込んでおきながら、子どもの行動に責任を持たない家庭の場合、礼儀がないというのが見えます。 最低限のしつけというのはやはり親の仕事。その上で、子どもの能力を引き出すのが私達講師の役割となれば、最高の教育環境が作れるのではと思います。	40 歳代	
62	私立の保育園は塾との連携も可能な気がしますが、公立の保育園ではなかなか難しいのではないかと思います。県や市町がそういった機会をつくっていただけたらともっと協力しあえるのかと思います。		
63	将来を考え、各年齢の子ども達はその年齢で出来る限りの力を発揮できるよう努めたい。また、“福井県”という枠にとらわれていては全国レベルに届かない。大きな夢が持てるような子育てにつなげたいところである。		
64	子ども達が豊かで安定した生活が送れるように、家庭や保育園などの養育力の向上が重要であると考えます。 保護者は塾、習い事を通して、さらに子育ての質の向上を目指し、子どもも得意分野を伸ばし、さらに人と人との関わりから礼儀や協調性、社会性など、保護者の求めるものは大きいと思います。 習い事の指導者としては、微力でも保護者の意に沿った支援、そして少しでも質の向上に関われれば幸いと考えます。	50 歳代	
65	塾、習い事で成果を挙げることは大切なことですが、幼児期の子どもにとって大切なことは、おうちの方、特にお母さんの声掛け、見守りです。 お母さんの声掛け一つで子どもはやる気にもなり成果(結果)も出てく		
			丹南地域

No.	意見	年代	地域名
	<p>るものです。そのお母さんの声掛け一つが将来のその子の人間形成にまで影響を及ぼすと思っています。指導者は子どもにとって大切な重要な存在であるお母さん達をサポートしていく役割を担っていくべきだと思います。</p>		
66	<p>保育所・園等のカリキュラムの中に塾、習い事の内容を組み入れることで、園、塾、習い事の指導者、父兄の三位一体の幼児教育が出来るように考えます。</p>	60 歳代	
67	<p>幼児とは0～6歳迄、年齢の幅が大き過ぎる。どの年齢を幼児と呼ぶかで能力は大きく変わる。その保護者が子ども達の年齢を考え、なぜ今教室に入会したかをよく考え、保護者が何を求めているかでも、能力の開き方が変わっていく。ピアノでも習字でも語学でも毎日必ずさせる事で能力はついてくる。要は親次第であると思う。</p>		
68	<p>幼児に対しては遊び、礼儀作法の教育システムを構築して元気な幼児を育てるよう指導すること。 保護者に対しては、家庭が最高の教育機関であることを認識させ教育を行うこと。</p>		
69	<p>公共の研修の場をオープンにし、研修の度合いに応じ認定証を発行し、家庭、地域でも信頼を見える形で外部に発信することで、指導者自身も常に「今の現状」を確認して地域、家庭に還元していける「橋」になればと思います。</p>		
70	<p>塾・習い事は、幼児の場合、保護者の希望によるものが多いと思います。個性を存分に伸ばし、明るい素直な子に育つよう、指導者は、絶えず幼児が気持ちよく学べる場を作るよう努力すべきです。叱らず、ほめて世のため人のために役立つ心の温かい子に育つよう努力をしたいものです。</p>	70 歳代 以上	
71	<p>今では近所づきあいがほとんどなく、子ども達を正すために知らない人でも叱ってくれることが少なくなり、そのことから、指導者の方々のそうした面でのサポートが大事かと思います。 当たり前だった事が、当たり前でなくなった事に役割を感じます。</p>	20 歳代	
72	<p>学力も体力も全国1、2を競う福井県だからこそ、他県にはマネの出来ない幼児教育の基本マニュアルやその実践を期待するところです。 都会などに比べ、家庭環境、地域環境も整っているため、さらに幼児が小中高と素晴らしい人間形成ができる、幼小中高と一貫した教育方針の柱がぶれないものであってほしいです。 指導者としても、その学校教育では補えないことをサポート出来るよう県や市などが間に入って、園と指導者の意思が互いに通じるよう話し合</p>	50 歳代	嶺南地域

No.	意見	年代	地域名
	えるようにしてほしいです。		
73	<p>家庭の中での幼児、園での幼児、それぞれの中で子どもの長所や短所を発見していくのですが、私達はひとつの習い事(ダンス、床運動)を好きになる、楽しくなるようにしていきながら、好きなことをやり続けるために、向上するためにやらなきゃいけないこと、学ばなければいけないことを指導し、幼児の長所を伸ばしていくつもりです。(好きなことや楽しいことをするためなら、子どもは集中もするし、頑張っって少々辛いことも乗り越えようとします)。まずは好きになるように。</p>		
74	<p>この教室では、幼児でお預かりした生徒さんは転勤等で福井県を出る人以外は、全員高校生まで通ってきます。私自身、第二の母のような気持ちで接し、指導させていただいております。お母様方の悩み等も聞いておりますが、お一人お一人は良い方達です。</p> <p>親の心の弱さ、自信の無さが子どもに的確な躰が出来ずにいるのではないのでしょうか？ 幼児教育イコール両親の時間のゆとり、心のゆとりではないのでしょうか。</p>		
75	<p>保育所や幼稚園の保護者向けの連絡、おたよりを定期的に塾などに流して問題点をつかんでおくと良いと思う。</p>	60 歳代	
76	<p>保護者の幼児教育に対するニーズが異なる中で、一概に「早期教育が重要である」とは言えませんが、関心度の高いご家庭には、幼児からのインプットの大切さや保護者の働き掛けの必要性を伝えるようにしています。</p> <p>自教室に通ってきている幼児さんの能力をさらにアップさせることで、地域の幼児教育の進展に貢献できたらと考えます。</p>	70 歳代 以上	

問6 保育所・幼稚園と連携して指導している幼児数

() 人

Ⅲ 個別設問

以下の設問について、該当する事項に「○」を付してください。

1 指導者の意識

問1 幼児を指導するに当たって、最も重要であると考えている事項に「○」を付してください（複数回答可）。

- 1 規則正しい生活ができるなどの基本的な生活習慣を身に付けること
- 2 あいさつができるなど行儀、マナーを身に付けること
- 3 善悪の判断ができるなど道徳心や規範意識を身に付けること
- 4 指導者をはじめ他人とのかかわりを持てるようにすること
- 5 楽しく、元気よく取り組めるようにすること
- 6 健康で丈夫な身体を育むこと
- 7 塾・習い事に興味・関心を示すようになること
- 8 塾・習い事に集中して取り組めるようにすること
- 9 塾・習い事が上達すること
- 10 保護者の教育方針を尊重すること
- 11 保護者の家庭教育の向上を支援すること
- 12 保育所・幼稚園等の教育方針を尊重すること
- 13 その他 ()

問2 貴方が指導する幼児が、将来どのような大人に成長してほしいと思いますか。該当する事項を3つまで選んで「○」を付してください。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 リーダーシップのある人 | 2 自分の家族を大切にする人 |
| 3 自分の考えを貫き通す人 | 4 友人を大切にする人 |
| 5 他人に迷惑をかけない人 | 6 仕事で能力を発揮する人 |
| 7 社会のために尽くす人 | 8 のんびりと生きる人 |
| 9 経済的に豊かな人 | 10 まわりから尊敬される人 |

問3 塾・習い事の指導者は、保育所・幼稚園の先生に次いで保護者を支える存在として大きくなっています。保護者が幼児を塾・習い事に通わせる意

識・背景の最も大きな要因について、該当する事項に「○」を付してください。

- 1 少子化や過疎化に伴い、幼児同士で遊ぶ機会が減少したため
- 2 保護者や地域住民が幼児の遊びの守り役をしなくなったため
- 3 保育所・幼稚園内で指導し、保護者と身近に接しているため
- 4 義務教育を見据えた早期教育が重要であると保護者が考えているため
- 5 幼児の体力や個性を伸ばすことが重要であると保護者が考えているため
- 6 保護者の家庭教育を支援しているため
- 7 その他（ ）

2 幼児との関わり

問1 幼児を指導して貴方が感じたこと

(1) 保護者の家庭教育力について、該当する事項に「○」を付してください。

- 1 以前に比べて低下していると思う (→ (2) へ)
- 2 以前と変わらないと思う
- 3 以前に比べて向上している
- 4 どちらともいえない
- 5 幼児を指導していない
- 6 その他（ ）

(2) (1) で「1」と回答した方にお聞きします。低下している事項に「○」を付してください(複数回答可)。

- 1 幼児が自分のことを自分でできないなど生活習慣が身に付いていない
- 2 幼児が我慢強く辛抱することができない
- 3 幼児が集中して遊んだり、学んだりできない
- 4 幼児が自分の気持ちや考えを人に伝えられない
- 5 その他（ ）

問2 貴方は、指導する幼児が通園する保育所・幼稚園の指導方針等を把握していますか。

- 1 十分把握している
- 2 概ね把握している
- 3 把握していない
- 4 保育所・幼稚園に通園している幼児を指導していない
- 5 その他（ ）

問3 貴方は、保育所・幼稚園と連携して、幼児を指導したことがありますか。
該当する事項に「○」を付してください（複数回答可）。

- 1 園の先生と連携しながら幼児を指導している
- 2 園と連携し、幼児とその保護者を指導している
- 3 園の教育方針を事前に確認して指導している
- 4 保護者から園の教育方針等をお聞きし、指導している
- 5 園と連携したことはない
- 6 その他（ ）

問4 貴方自身が、育児・教育について学ぶ機会がありますか。

- 1 ある
- 2 ない
- 3 その他（ ）

問5 幼児の指導者として、関係者が連携し、幼児教育の向上を図る必要性を感じますか。

- 1 相当感じる
- 2 まあ感じる
- 3 あまり感じない
- 4 感じない
- 5 その他（ ）

問6 幼児教育の向上を図る観点から、県や市町に対しどのような支援を望まれますか。

- 1 保育所・幼稚園との交流・連携する機会を設けること
- 2 家庭での育児・教育の向上を図ること
- 3 地域ごとに幼児教育の相談・交流できる場を設けること
- 4 県・市町が主催する会議、研修に参加できるようにすること
- 5 その他（ ）

3 幼児教育の在り方

問1 「家庭教育力が低下している」と言われていますが、その要因について、該当する事項に「○」を付してください（複数回答可）。

- 1 保護者の育児・教育に対する意識・意欲が低下しているため
- 2 保護者の仕事が忙しく育児・教育を考える余裕がないため
- 3 祖父母から保護者に対し、育児・教育についてアドバイスしない、または核家族化に伴い日頃から協力できないため

- 4 保護者が、育児・教育に関し、保育所・幼稚園に依存するようになって
いるため
- 5 家庭の育児・教育力は低下していない
- 6 その他 ()

問2 家庭の育児・教育をさらに良くしていくため、指導者として協力・支援
できることについて、該当する事項に「○」を付してください（複数回答
可）。

- 1 保護者の育児・教育に関する悩みを聞き、自身の知識・経験をもとに保
護者にアドバイスをする
- 2 育児・教育に関する専門家・支援センターから知識や技術を学び、保護
者に伝える
- 3 育児・教育に関する講座・研修に参加し、自身のレベルアップを図る
- 4 幼児の指導を通して、家庭教育に必要な知識・技術を保護者に見せてい
く
- 5 今も十分に協力・支援している
- 6 その他 ()

問3 幼児を指導する立場として、貴方が幼稚園・保育所の先生方と連携して、
幼児教育をさらに向上させていくための方策として、最もふさわしい事項
に「○」を付してください。

- 1 園と定期的な情報・意見交換を行うこと
- 2 園の行事・催しなどに参加し、今後の指導に反映すること
- 3 園の先生が塾・習い事に参加し、園活動に反映すること
- 4 園と塾・習い事の教育（指導）方針をそれぞれが理解すること
- 5 園と塾・習い事の指導者同士が連携し、幼児の保護者の家庭教育を支援
すること
- 6 園と塾・習い事の指導者同士が連携し、地域の幼児教育活動に参加・支
援すること
- 7 園と塾・習い事における幼児教育の役割が異なるため連携できない
- 8 その他 ()

IV その他

福井県では、共働き世帯の割合が高いことなどを背景として、3歳児から5歳児のほぼ100%が、保育所・幼稚園に通園するなど、全国的にも高い通園率となっています。

また、塾・習い事に通う幼児の割合は24.4%で、特に、5歳児では57.1%に達しているなど、本県の幼児の生活の中で大きなウェイトを占めるようになっていきます。

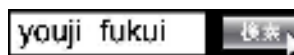
こうした本県の実情を踏まえ、これからの幼児教育をさらに向上させていくため、塾・習い事の指導者の皆さんがどのような役割を果たしていくとよいとお考えですか。ご所見をお聞かせください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

恐れ入りますが、同封した返信用封筒をご利用の上、投函いただきますようお願いいたします。 【返信期限 7月6日】

<問合せ先>

福井県教育庁義務教育課 幼児教育支援室
電話 (0776) 20-0732 (直通)



問合せ先

福井県教育庁義務教育課 幼児教育支援室

電話 (0776) 20-0732

FAX (0776) 20-0671

E-Mail youji@pref.fukui.lg.jp

幼児教育関連県 HP

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/gimu/youji.html>

